

# 平成 24 年度 大阪府立布施高等学校 第 1 回学校協議会 概要

I 日時：平成 24 年 9 月 27 日（木）14:30～16:30

II 場所：大阪府立布施高等学校 校長室

III 協議会委員：

委嘱委員 (敬称略)

近畿大学 総合社会学部 教授	田澤 新成
司馬遼太郎記念館 副館長	上村 元子
東大阪市立小阪中学校長	樋上 優
東大阪市立八戸の里小学校長	吉川 景三
全日制同窓会長	宇根 誠一
PTA 書記	佐藤 美紀
PTA 会計	長崎 夏江

校内事務局員

校長、教頭、事務部長、首席（兼運営委員長）、指導教諭（兼 2 年生学年主任）

総務部長、教務主任、進路指導主事 ※進行・書記：教頭

IV 内容

1. 挨拶、新学校協議会趣旨等説明
2. 学校協議会委員・事務局員紹介
3. 会長選出（田澤委員を選出）・会長挨拶 会長代理に上村委員を選出
4. 授業観察 1 年生「FN『仕事調べを終えて』」スピーチを見学
5. 報告 (1) 平成 24 年度学校経営計画 【校長】  
(2) 取組みの進捗状況
  - ①「1 年生学習合宿」、「大学生インターンシップの土曜日活用」等 【首席】
  - ②「FN」、司馬遼太郎記念館との連携等 【指導教諭】
  - ③進路状況（H23 年度卒業生、H24 年度卒業予定生） 【教頭】
6. 協議「学校改善に向けて」 ※進行は田澤会長
  - 授業観察の感想
    - ・発表の合間のコメントが非常にうまい先生がいた。そういうことは大事。生徒に元気が出る。
    - ・宇宙飛行士の職業について発表するなど、色々な方面に関心を持っていると感じた。
    - ・生徒の体格がよくなったせいか教室がせまく感じられた。
    - ・「総合」等で、ものづくりを指導できるような先生がいれば面白い。
    - ・色々な方面の職業に就いている人(ゲストスピーカー)を呼ぶのも進路意識向上につながるだろう。
    - ・掲示物がきれいに整理されているクラスがあった。落ち着いた雰囲気づくりにプラスである。
  - 提言、意見等
    - ・学校協議会の実施要項 第二条（3）が特に大きく変わった点。
    - ・協議会の位置づけが変わったことに期待できそう。

- ・「経営計画」の“遅刻の指標”の説明を → 3年間で25%減が目標
- ・「文武両道」になるよう、部活動も勉強も両方頑張ってほしい。人間的成長を大切にする布施高のよさの継承と思い出作りの取組みを進めていっていただきたい。
- ・土曜インターンシップの取組みの説明を。
  - 70周年記念事業でブース形式の新しい自習専用室が10月に完成。それを機に、より多くの生徒に自学自習の取組みを呼びかける予定。
- ・土曜自習室のチューターとは？
  - 取組みを、中心になって運営していく学生のこと。部屋の開閉や準備は教員を配置する。
  - 土曜に部活動で登校している生徒が多く、その生徒たちへの支援を中心にする。これをきっかけに、自発的に勉強しようという生徒を増やしたい。
- ・生徒と年の近い学生には勉強以外の進路等についても相談しやすい。その意味でもインターンシップ活用は意義深い。
- ・大学生を育てるという意味でも、高校生に教えることで逆に色々学べてよい取組み。
- ・園芸部を活用し、校内に“野菜工房”などを作るのも面白い。同窓会も協力する。
- ・運動部はどこの学校も活発。文化部がより活発になればよいと思う。
- ・園芸部とPTAのさらなる協力で、菜の花運動などをもっと活発にやっていければよい。

○ その他 採択教科書の説明

【教頭】

※ 第2回学校協議会は、年明けを目処に開催予定。保護者から意見書が提出された場合は、開催等について会長と協議。